＜報道発表資料＞

令和８年１１月１７日
京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課

京都市児童療育センターの指定管理者の候補となる団体の選定結果

京都市では、「京都市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例」に基づき、「京都市児童療育センター」の指定管理者の候補となる団体（以下「指定候補者」という。）の公募を行い、学識経験者等で構成する京都市子ども若者はぐくみ局指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）に意見聴取のうえ、選定しました。

なお、選定された指定候補者については、指定候補者を指定管理者とする議案を令和８年１１月市会に提案し、可決された場合には、指定期間開始時から本施設の運営に当たります。

【施設概要】

● 対象施設

名称	所在地	施設規模等	
		延床面積	備考
京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース以外）	〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町六丁目６５番地	１，０１２㎡	鉄筋コンクリート造７階建て（うち１階部分）
京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース）		３９０㎡	

● 指定候補者

施設名称	団体及び代表者	主たる事務所の所在地
京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース以外）	社会福祉法人 京都総合福祉協会 理事長 徳永 博己	〒606-0846 京都市左京区下鴨北野々神町２６番地
京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース）	社会福祉法人 京都老人福祉協会 理事長 馬場 協一郎	〒612-0844 京都市伏見区深草大亀谷東古御香町５９番地・６０番地

● 指定期間

令和９年４月１日から令和１５年３月３１日まで

【公募の概況】

● 応募団体

施設名称	応募団体数	応募団体
京都市児童療育センター （旧相談・診療部門スペース以外）	1	社会福祉法人京都総合福祉協会
京都市児童療育センター （旧相談・診療部門スペース）	1	社会福祉法人京都老人福祉協会

● 募集日程

令和８年　６月　１日(月)～７月　１日(水)	募集要項等の配布
６月　１日(月)～６月１５日(月)	質疑の受付期間
６月１７日(水)～６月２４日(水)	質疑の回答
６月２５日(木)～７月　１日(水)	申請書類の受付期間
７月１５日(水)～８月下旬	審査書類の点検、 選定委員による書類審査
８月２７日(木)	選定委員会

● 選定委員会委員（五十音順、敬称略）

	氏　　名	役　職　等
委員長	長光（ながみつ）　太志（たいし）	大学教員
委員	大場（おおば）　勇輝（ゆうき）	弁　護　士
	川元（かわもと）　麻衣（あい）	公認会計士
	長谷川（はせがわ）　裕（ひろし）	市民公募委員

【選定の概況】

「令和８年度京都市障害児通所支援事業所指定管理者募集要項」に基づき、応募団体を評価した結果、指定候補者としてふさわしいと評価されたため選定しました。

● 選定理由

選定委員会において、応募団体の運営実績、応募施設の運営理念、事業計画、施設運営体制、経営管理計画、危機・安全管理等の審査基準に基づいて総合的に評価し、選考を行いました。その結果、次の理由により指定候補者とするにふさわしい団体であると評価されました。

施設名称（選定団体）	選定委員会による評価
京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース以外）（社会福祉法人京都総合福祉協会）	・　障害福祉、児童発達支援において複数の事業所を運営されておりスケールメリットを享受できると思われる。 ・　流動比率、純資産比率が高いことも評価できる。 ・　長年にわたり社会福祉事業に携わり、障害のある子どもやその家族に対する支援を継続してきた実績は高く評価できる。また、地域全体の支援力の向上を目指す方針は、個々の事業の実施にとどまらず、地域における共生社会の実現につながる取組として評価できる。 ・　利用者のニーズを常に考え、卒園後のフォローも視野にいれている点は非常に重要であり、重点的に取り組んでいるものと見受けられる。療育へのニーズが高まる中、人材育成、研修などに積極的に取り組んでいる印象で、今後も高いサービス提供ができる事業計画かと思う。
京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース）（社会福祉法人京都老人福祉協会）	・　児童関係のみならず老人福祉関係についても実績がある点が評価できる。 ・　発達支援を必要とする子ども及び保護者への支援は、重要性を増しており、障害福祉事業及び児童福祉事業における長年の実績と専門的知見を背景として、支援を継続的かつ適切に提供している点は高く評価できる。また、これまでに培われた専門性や関係機関とのネットワークを生かし、地域における支援のハブ的な役割を担い、多様な関係機関・専門職等の連携を促している点も重要な貢献として評価できる。 ・　少子化が進む一方で、療育が必要とされる児童は増加傾向にあり、保護者への対応は他施設よりもセンシティブになる中、苦情にもつながりやすいと思う。その中で取り組まれている人材育成は特に重要であり、施設内部での共有や個人のスキルアップに尽力されているという印象を持った。

● 審査結果詳細一覧

選定結果については以下のとおりです。

【京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース以外）】

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都総合福祉協会
運営実績（申請団体の状況）	1　団体の運営実績及び組織内連携	１０	１０．００
	2　団体の運営管理体制	２８	２４．００
	小計	３８	３４．００
事業計画（応募施設の状況）	1　応募施設の運営理念	１０	１０．００
	2　応募施設の事業計画	１８	１８．００
	3　応募施設の施設運営体制	１４	１４．００
	4　応募施設の経営管理計画	１２	１０．７５
	5　応募施設の危機・安全管理	２０	２０．００
	6　上記以外で特にＰＲしたい内容	―	―
	小計	７４	７２．７５
合計		１１２	１０６．７５
合計得点 （百分率表示、小数点第２位を四捨五入）		１００	９５．３

【京都市児童療育センター（旧相談・診療部門スペース）】

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都老人福祉協会
運営実績（申請団体の状況）	1　団体の運営実績及び組織内連携	１０	１０．００
	2　団体の運営管理体制	２８	２０．００
	小計	３８	３０．００
事業計画（応募施設の状況）	1　応募施設の運営理念	１０	１０．００
	2　応募施設の事業計画	１８	１８．００
	3　応募施設の施設運営体制	１４	１３．７５
	4　応募施設の経営管理計画	１２	１１．５０
	5　応募施設の危機・安全管理	２０	２０．００
	6　上記以外で特にＰＲしたい内容	―	―
	小計	７４	７３．２５
合計		１１２	１０３．２５
合計得点 （百分率表示、小数点第２位を四捨五入）		１００	９２．２

＜お問合せ先＞

・　京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課
・　電話：０７５－２２２－３９３７

京都はぐくみ憲章